

令和5年9月22日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）給食費の無償化に向けて市町を支援する取組について

広島県内の自治体が知恵を絞って財源を捻出し、国に先駆けて給食費の無償化に先手を打っている状況であり、県として後押ししていただきたいと考えるが、給食費の無償化に向け、県の市町を支援する取組について、教育長に所見を伺う。

（答）

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で大切な役割を果たすものでございます。

学校給食費の無償化につきましては、多額の経費負担を伴うことから、各自治体が個々に対策を講じるものではなく、国において一律に検討されるべきものと考えております。

現在、国では、学校給食費の無償化に係る実態調査を行っているところであり、今後、この調査結果等を踏まえ、小中学校の給食実施状況の違いや、法制面等も含め、課題の整理を丁寧に行うとともに、学校給食費の無償化の具体的な方策を検討することとされています。

こうしたことから、教育委員会といたしましては、国の動向を注視するとともに、全国都道府県教育長協議会等を通じて、学校給食の無償化について、引き続き国に要望してまいります。